2027年3月期　第2四半期（中間期）

決算説明資料

ヨネックス株式会社
証券コード：7906

2026年11月10日

目次

1. 2027年3月期 上期連結決算 …… 3
2. セグメント概況 …… 8
3. 2027年3月期　業績予想 …… 15
4. トピックス …… 17
5. Appendix …… 23

© 2026 YONEX Co., Ltd.

2027年3月期　上期決算ハイライト

売上高	営業利益	親会社株主に帰属する中間純利益
918億円	108億円	82億円
前年同期比 +15.5%	前年同期比 +22.3%	前年同期比 +28.9%

売上高

- スポーツ市場が堅調に推移する中、国際大会における当社契約選手の活躍により当社製品への注目がさらに高まったことに加え、円安による為替換算の影響もあり増収
- バドミントンは、アジアに加え、ヨーロッパをはじめとする幅広い地域での選手の活躍により競技の広がりが継続
- テニスは、「Head-to-Toe（頭からつま先まで）」で当社製品を使用する契約選手2名が、女子シングルスで四大大会のうち3大会を制する等活躍。ウェア等を含む用品全体への注目が高まり、販売が伸長

営業利益

- グローバルでのマーケティング投資強化に伴う広告宣伝費や、人件費等の販管費が増加
- 増収及び粗利率の改善による粗利増加が販管費の増加を上回り増益

© 2026 YONEX Co., Ltd.

連結業績

（百万円）

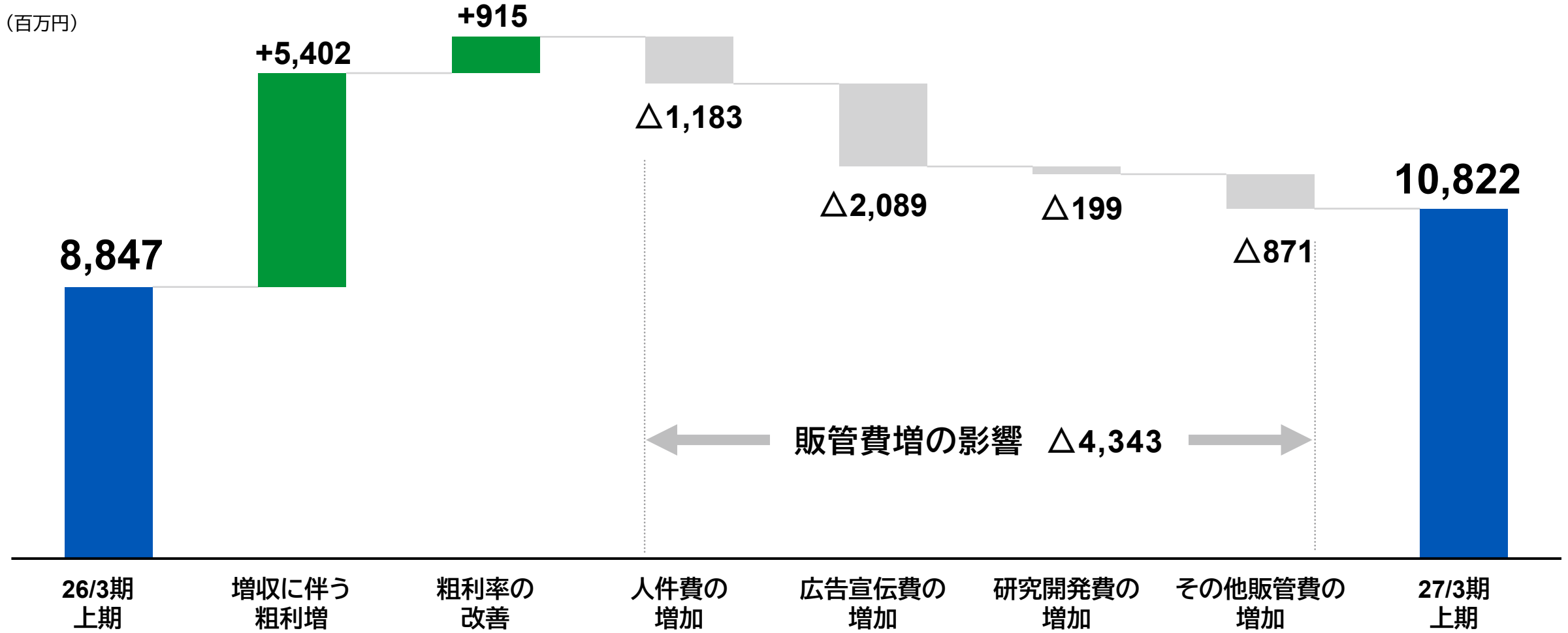
	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期 実績	2027年3月期 上期 売上比	増減率（増減額）	2027年3月期 通期予想※
売上高	79,532	91,853	—	+15.5%（+12,320）	181,000
売上総利益	34,875	41,193	44.8%	+18.1%（+6,318）	—
販管費	26,028	30,371	33.1%	+16.7%（+4,343）	—
営業利益	8,847	10,822	11.8%	+22.3%（+1,974）	18,900
経常利益	8,199	10,897	11.9%	+32.9%（+2,697）	19,100
親会社株主に帰属する中間純利益	6,371	8,213	8.9%	+28.9%（+1,841）	14,200
1株当たり中間純利益	74.55円	95.97円	—	+21.42円	165.98円

※ 2026年8月10日修正値

© 2026 YONEX Co., Ltd.

連結営業利益　増減分析

増収により粗利が増加したことに加え、粗利率も改善。販管費はグローバルでのマーケティング投資強化による広告宣伝費や人件費が増加。粗利増加が販管費増加を上回り、営業利益は増益



© 2026 YONEX Co., Ltd.

連結貸借対照表

売上伸長に伴い売上債権が増加。棚卸資産は、主に中国子会社の在庫増加等により増加。有形固定資産は、富山工場関連の設備投資等により増加

● 資産

	2026年3月末	2026年9月末	増減額
現預金	34,312	34,294	△18
受取手形・売掛金	22,655	24,436	+1,781
棚卸資産	24,196	31,430	+7,233
有形固定資産	37,423	40,561	+3,138
無形固定資産	1,452	1,277	△174
その他	8,580	8,109	△470
資産合計	**128,620**	**140,109**	**+11,489**

● 負債・純資産

（百万円）

	2026年3月末	2026年9月末	増減額
買掛金	11,115	13,118	+2,002
有利子負債	17,402	17,365	△36
その他	19,362	20,442	+1,080
負債合計	**47,880**	**50,926**	**+3,046**
自己資本	80,493	88,927	+8,434
非支配株主持分	247	255	+8
純資産合計	**80,740**	**89,183**	**+8,442**
負債純資産合計	**128,620**	**140,109**	**+11,489**

© 2026 YONEX Co., Ltd.

連結キャッシュ・フロー

棚卸資産の増加により営業キャッシュ・フローは減少。富山工場関連の設備投資等、GGSに基づく成長投資を継続しつつ、必要な手元資金を確保

（百万円）

	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,750	4,561	△3,188	・棚卸資産の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,256	△3,975	+3,280	・富山工場関連設備投資
フリー・キャッシュ・フロー	494	586	+92	
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,876	△1,714	△7,590	・配当金の支払及び長期借入金の返済
現金及び現金同等物に係る換算差額	△948	816	+1,764	
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,422	△311	△5,733	
現金及び現金同等物の残高	34,423	33,426	△996	

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― セグメントの概要

日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

（百万円）

セグメント		2027年3月上期実績		連結売上高構成比	業績計上対象	
		売上高	営業利益		販売	製造
スポーツ用品事業	日本	35,794	3,514	39.0%	・ヨネックスジャパン（日本国内向け） ・海外代理店向け※	・新潟工場 ・東京工場 ・ヨネックス精機
	アジア	47,339	6,963	51.5%	・ヨネックス中国 ・ヨネックス台湾	・ヨネックス台湾 ・ヨネックスインド ・ヨネックステクニファイバー（タイ）
	北米	4,744	412	5.2%	・ヨネックス北米（アメリカ・カナダ）	
	ヨーロッパ	3,612	475	3.9%	・ヨネックスドイツ ・ヨネックスイギリス	
スポーツ施設事業		362	46	0.4%	・カントリークラブ、ゴルフ練習場、テニスクラブの運営	

※ 代理店を経由して販売している地域：東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

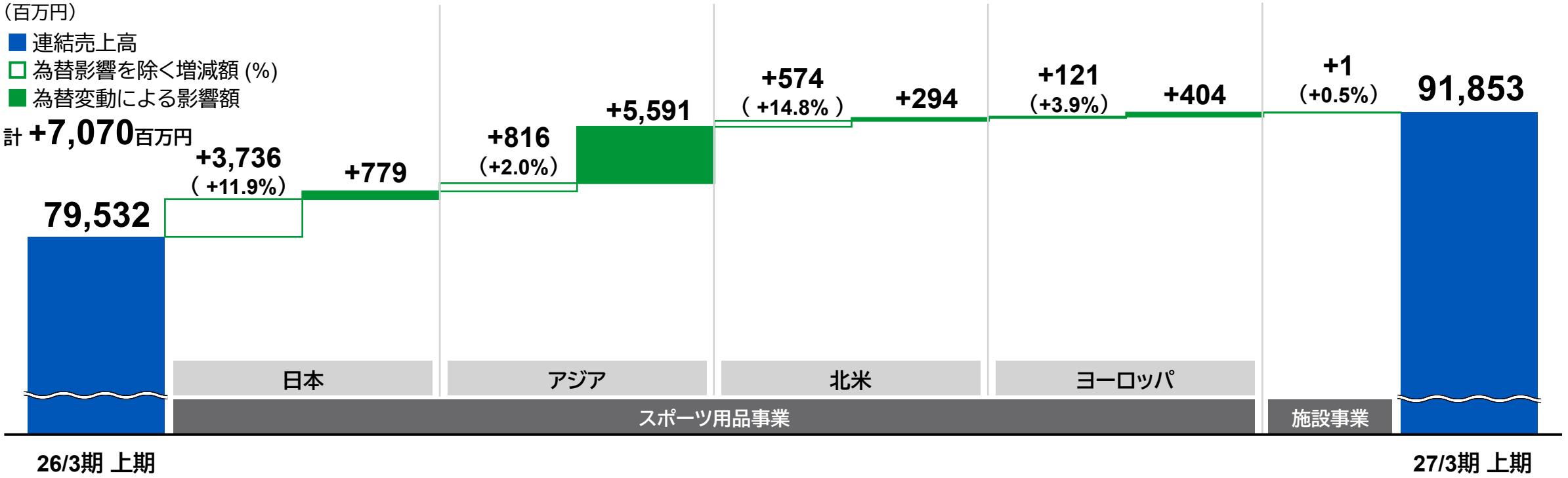
© 2026 YONEX Co., Ltd.

― セグメント別売上高への為替影響

主要通貨に対して円安が進行し、為替換算の影響が連結売上高の増加に大きく寄与

● 為替レート

	1RMB	1TWD	1USD	1EUR	1GBP
26/3期 上期（1-6月）	20.46円	4.66円	148.59円	162.14円	192.57円
27/3期 上期（1-6月）	**23.04円**	**4.99円**	**158.17円**	**184.51円**	**212.76円**
前年同期比	**+12.6%**	**+7.1%**	**+6.4%**	**+13.8%**	**+10.5%**



© 2026 YONEX Co., Ltd.

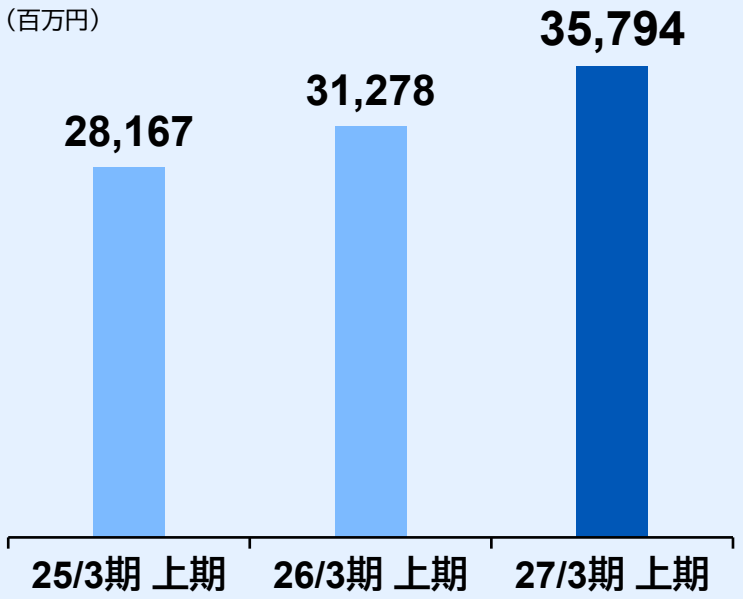
― スポーツ用品事業　日本

売上高

35,794百万円

前年同期比
+14.4%

国内	バドミントン用品は堅調な需要を背景に販売が増加。テニス用品も、新デザインのラケットが好調に推移したほか、ストリングやシューズの販売も伸長し、増収
海外代理店	国際大会での当社契約選手の活躍や競技の盛り上がりを背景に、アジアやヨーロッパを含む幅広い地域で販売が増加し、大幅増収

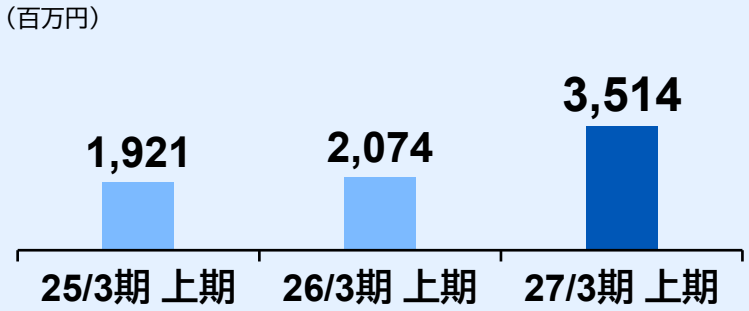


営業利益

3,514百万円

前年同期比
+69.4%

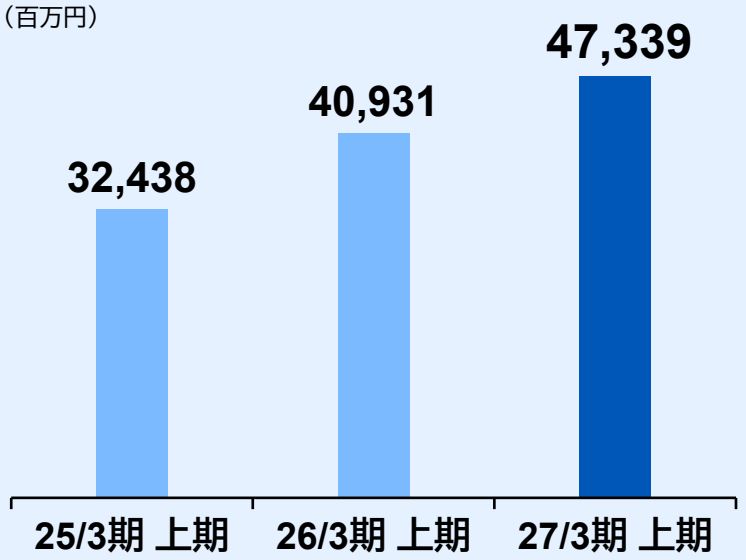
人件費や広告宣伝費等の増加により販管費は増加したものの、増収に伴う粗利の増加に加え、前年同期に計上した一部商品の品質不良に伴う損失の反動もあり、大幅増益



© 2026 YONEX Co., Ltd.

― スポーツ用品事業　アジア

売上高	**47,339**百万円	前年同期比 **+15.7**%	
中国	バドミントン用品は需要が前年同期を下回る中、上期販売は概ね前年同期並みで推移。ウェア、バッグ等のその他用品が伸長し、全体では現地通貨ベースで前年同期を上回る。さらに、円安に伴う為替換算の影響もあり、増収		
台湾	引き続き活性化するバドミントン市場を背景にバドミントン用品を中心に販売が大きく伸長。円安に伴う為替換算の上押もあり増収 ※台湾子会社の不正アクセスについては、システム復旧済みで、本件による業績への影響は軽微		



営業利益	**6,963**百万円	前年同期比 **+15.2**%	
	マーケティング投資強化に伴う広告宣伝費や人件費等の販管費が増加したものの、増収に伴う粗利の増加がこれを上回り増益		



● 為替レート

	2025年1-6月		2026年1-6月	前年同期比
1RMB	**20.46**円	→	**23.04**円	**2.58**円 円安

	2025年1-6月		2026年1-6月	前年同期比
1TWD	**4.66**円	→	**4.99**円	**0.33**円 円安

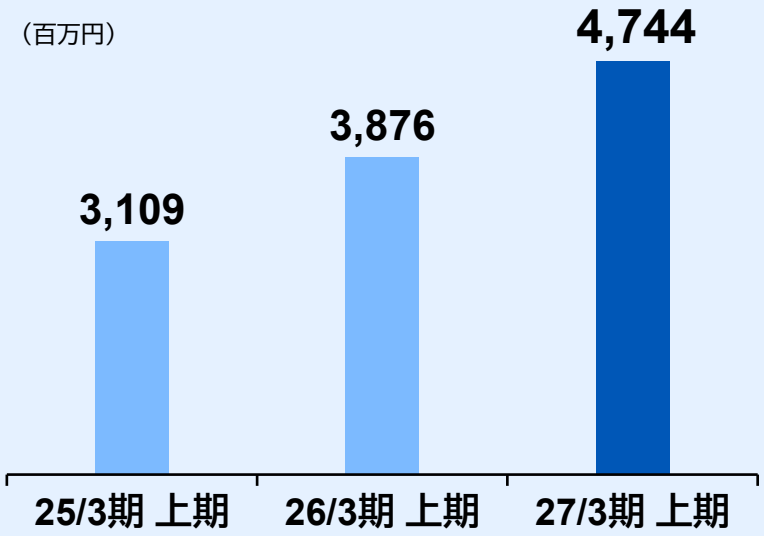
© 2026 YONEX Co., Ltd.

― スポーツ用品事業　北米

売上高

4,744百万円　　前年同期比 **+22.4%**

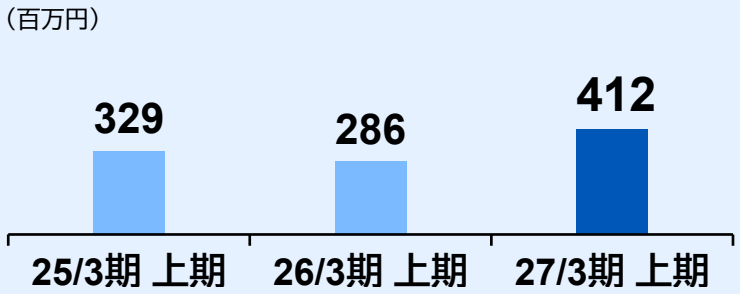
契約選手の活躍等によるブランドへの注目の高まりを背景に、テニス用品はラケットを中心に販売が大きく伸長。バドミントン用品も増加し、現地通貨ベースで増収。さらに、円安による為替換算の影響も寄与し、大幅増収



営業利益

412百万円　　前年同期比 **+43.7%**

重点地域としてのマーケティング投資強化に伴う広告宣伝費及び人件費等の販管費が増加したものの、増収及び関税還付等による売上総利益の増加が上回り、増益



● 為替レート

	2025年1-6月		2026年1-6月	前年同期比
1USD	**148.59**円	→	**158.17**円	**9.58**円 円安

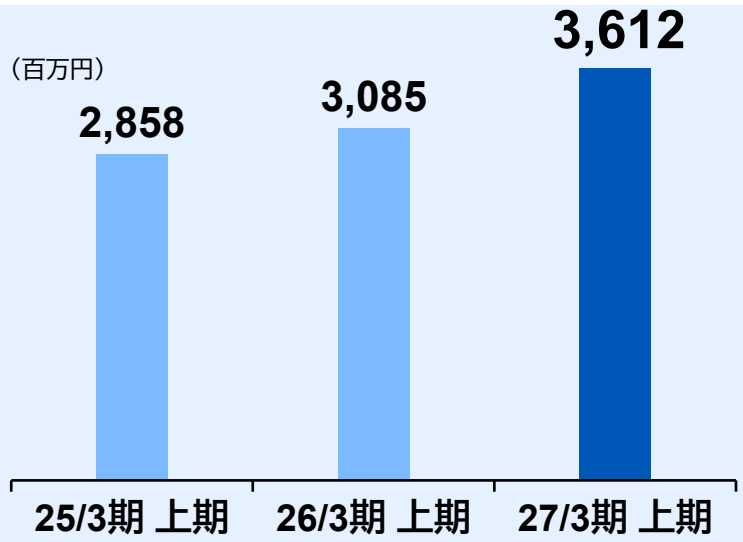
© 2026 YONEX Co., Ltd.

― スポーツ用品事業　ヨーロッパ

売上高

3,612百万円　　前年同期比 **+17.1%**

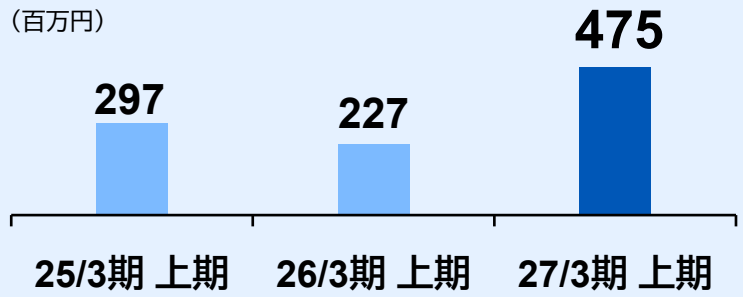
ドイツ及びイギリス販売子会社では、バドミントン用品の販売が前年同期並みとなる中、契約選手の活躍等によるブランドへの注目の高まりもあり、テニス用品の販売が大きく伸長。ヨーロッパセグメント全体では、現地通貨ベースで前年同期を上回ったことに加え、円安に伴う為替換算の影響もあり、増収



営業利益

475百万円　　前年同期比 **+108.7%**

増収に伴い粗利が増加。広告宣伝費や人件費等の増加により販管費が増加したものの、粗利の増加がこれを上回り、大幅増益



● 為替レート

	2025年1-6月		2026年1-6月	前年同期比
1EUR	162.14円	→	184.51円	22.37円 円安

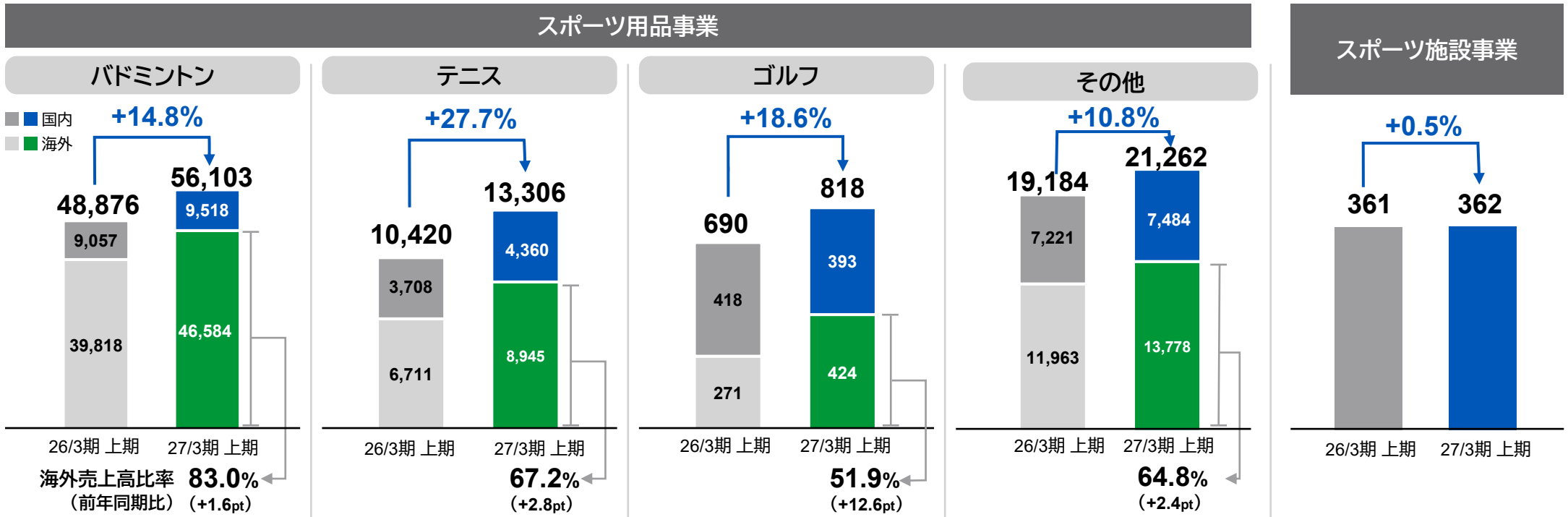
	2025年1-6月		2026年1-6月	前年同期比
1GBP	192.57円	→	212.76円	20.19円 円安

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― 種目別売上高

スポーツ用品事業では、主要市場である海外の販売が伸長し、すべての種目で増収。特にテニスは「Head-to-Toe」で当社製品を使用する契約選手が四大大会等で活躍し、ブランドへの注目が高まる中、大幅増加

（百万円）



※ 海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― 2027年3月期　通期業績予想（変更なし）

上期業績は概ね想定どおりに着地し、通期業績予想に対しても概ね計画線で進捗。2026年8月10日に公表した通期業績予想を据え置き

● 予想の前提

- 地域ごとの需要動向や外部環境を慎重に見極め
- GGSに基づく成長に向けた戦略的投資を継続

● 為替レート（期中平均）

（円）

	26/3期 実績	27/3期 予想※
1RMB	20.81	**23.0**
1TWD	4.79	**4.9**
1USD	149.70	**155**
1EUR	168.99	**180**
1GBP	197.24	**210**

※8月10日 修正

（百万円）	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想（8月10日修正）	前年比 増減率	前年比 増減額
売上高	163,643	**181,000**	**+10.6%**	**+17,356**
営業利益	16,546	**18,900**	**+14.2%**	**+2,353**
営業利益率	10.1%	**10.4%**		**+0.3pt**
経常利益	16,316	**19,100**	**+17.1%**	**+2,783**
親会社株主に帰属する当期純利益	12,092	**14,200**	**+17.4%**	**+2,107**

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― 配当

安定的かつ適正な配当水準を維持することを基本方針とする。中間配当金は、創業80周年を記念し、普通配当14円に記念配当3円を加え、17円とする。年間配当金は31円を予定

		2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期（中間決定額・期末予想）
1株当たり配当金(円)		**13.0**	**16.0**	**22.0**	**25.0**	**31.0**
中間配当金	普通	5.0	7.0	10.0	12.0	14.0
	特別	1.0	―	1.0	―	―
	記念	―	―	―	―	3.0
期末配当金	普通	5.0	7.0	10.0	13.0	14.0
	特別	2.0	2.0	1.0	―	―
DOE(%)		**2.3%**	**2.4%**	**2.9%**	**2.9%**	―

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― テニス：2026年四大大会におけるチームヨネックス選手の活躍

全豪・全仏・ウィンブルドン・全米オープンの四大大会で、当社契約選手が幅広い種目で活躍。女子シングルスは4大会のうち3大会で当社のHead-to-Toe 選手が優勝。直近の全米オープンでは当社ラケットの使用率が初めて首位に

全豪オープン｜8種目で優勝

女子S(Singles)・D(Doubles)
車いす女子S・D
車いす男子S・D
ジュニア男子D
車いすジュニア男子D

全仏オープン｜5種目で優勝

女子D
車いす女子S・D
車いす男子S・D

ウィンブルドン｜5種目で優勝

女子S
男子D
車いす男子S・D
ジュニア男子S

全米オープン｜4種目で優勝

女子S・D
車いす男子S・D

全豪、全米：エレーナ・ルバキナ選手、ウィンブルドン：リンダ・ノスコバ選手

女子シングルス 3/4大会 Head-to-Toe 優勝

Head-to-Toe 選手：当社のラケット、ウェア、シューズの総合使用

全米オープンで 男女シングルス 躍進

エレーナ・ルバキナ選手



女子シングルス　優勝

ベン・シェルトン選手



男子シングルス　準優勝

男女シングルス 本大会出場選手のラケット使用率

初めて No.1 獲得

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― DTC：多様な顧客接点を通じてブランド体験を拡大

大会と連動した期間限定ポップアップから継続的な体験拠点まで、商品・技術への理解を深め、お客様の声を商品・サービスの改善に活用

YONEX COFFEE HOUSE

2026年 8月28日～9月5日







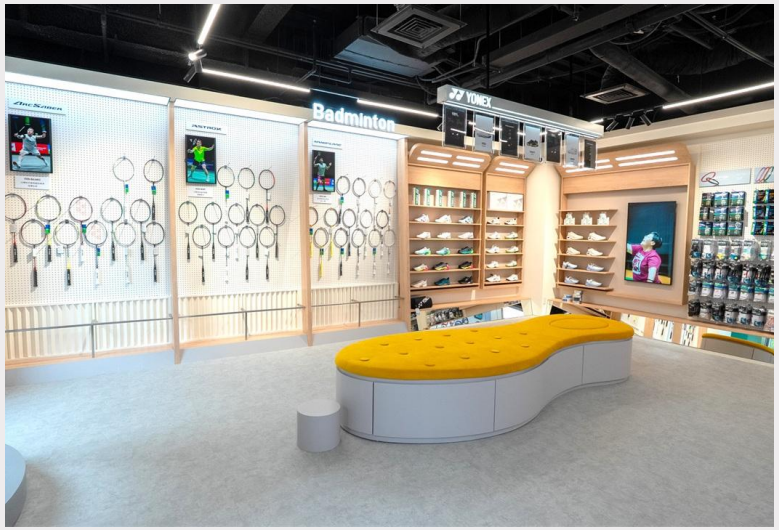


▶ 全米オープンに合わせ、
EZONEの新色「エスプレッソブラウン」をテーマカラーとした
期間限定ポップアップ

▶ 新製品の世界観や限定商品の販売
選手とファンの接点を拡大

YONEX TAIPEI SHOWROOM

世界4店舗目



総合提案	バドミントン・テニス・ゴルフ
体験	試打・足型計測・ストリンギング・刺繍
顧客理解	お客様の声を商品・サービス改善へ

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― バドミントン：世界選手権でチームヨネックス選手が躍進、上位進出国・地域も広がる

アレックス・ラニエ選手がフランス男子初の世界選手権制覇。ベスト4進出国・地域の顔ぶれも変化し、競技の地域的な広がりが進展



アレックス・ラニエ 選手

フランス男子シングルス
初の世界選手権優勝
+ フランスはミックスダブルスも優勝



女子シングルス

アン・セヨン 選手（韓国）



男子ダブルス

リャン・ウェイケン & ワン・チャン 選手（中国）

2026年大会
ベスト4進出国・地域
10か国

2015年大会
ベスト4進出国・地域
8か国

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― バドミントン：世界的な関心の継続的拡大

バドミントンの世界的な関心は高まり続けており、2023年から2025年にかけてBWF世界選手権の動画再生回数やフォロワーが大幅に増加



バドミントン参加人口

推定参加者数
BWFグローバルスタディ、2024年

世界選手権関連　BWFのデジタル発信の状況

Badminton World Federation（世界バドミントン連盟）

	動画再生回数	インプレッション（表示回数）	新たなフォロワー
コペンハーゲン 2023			
パリ 2025	+206% 2.08億回	+112% 2.74億回	+50% 16.1万人

出典：BWFアニュアルレポート　2024年版（参加人口）、2025年版（デジタル活動）

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― 中国バドミントン市場と当社の活動

前期まで大幅に伸長した用品需要が前年同期を下回る中、中長期的な視点でコアプレーヤー層とのつながりを強化

中国バドミントン市場の状況

前期まで
（市場が大きく拡大）

バドミントンへの関心の高まりを背景に、
プレーヤー層が広がり、用品需要も伸長

2026年1～6月
（用品需要は前年同期を下回る）

前期までの大幅な伸長から、
エントリー層を中心に需要が減少

中長期
（コアプレーヤー層とのつながりを強化）

競技に深く親しむお客様に向けた大会や
草の根販促活動を継続

多様な大会を通じたお客様との接点の拡充



YONEX上海オープン

元世界トップ選手たちと、一般のプレーヤーが同じ舞台で競う
ユニークな大会、バドミントンの楽しみ方を広げる

開催日程 7月18日～19日（2023年から開催し、今年で4回目）
参加人数 512名（初回2023年は230名）| **観客** 7,000名超
反響 今回初めて導入した有料観覧チケットは発売開始から2日間で完売

競技層に応じた大会を継続



「王者之志」
幅広い年代や競技レベルの
プレーヤーを対象



「美舞之志」
女性プレーヤーを
対象



「未来之志」
ジュニアを
対象

アマチュア大会の開催実績（1～6月）

大会数 2025年 53回 → **2026年 56回**　　**参加者数** 2025年 34,194名 → **2026年 38,441名**

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― インド：重点市場における事業基盤を強化

現地の製造と販売の連携を深め、インドのお客様とのつながりを強化

現地製造基盤 × 販売代理店との連携　|　**グローバル戦略 × ローカル市場の特性**

インド工場（YONEX INDIA PRIVATE LIMITED）





競技を通じたお客様との接点





これまで｜製造・販売の基盤を構築

製造｜YONEX INDIA PRIVATE LIMITED
- 2017年、インド市場向けラケットの現地生産を開始
- 2023年、新工場でカーボン製ラケットの製造を開始し、生産規模を拡張

販売｜SUNRISE SPORTS (INDIA) PRIVATE LIMITED
- 長年の協力を通じ、ブランド浸透と市場拡大に取り組む

2026年｜販売代理店への資本参画へ

- SUNRISE SPORTS（INDIA）PRIVATE LIMITEDの株式を取得予定
- 議決権所有割合50.0%とし持分法適用会社化

今後｜事業基盤をさらに強化

- 製造と販売の連携を深化製販連携の強化
- お客様とのつながりを広げ、競技の普及・発展を支援

■ **YONEX-SUNRISE India Open 2026**
1月13日～18日 / BWFワールドツアー Super 750

■ **BWF世界選手権 2026**
8月17日～23日 / ニューデリー

国際大会の開催地として存在感

© 2026 YONEX Co., Ltd.

Appendix

― 参考：国内／海外法人の決算期について

日本セグメント（国内事業・海外代理店向け販売）は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は以下のとおり

● **2027年3月期上期 連結決算の対象期間（会社別）**

	2026年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2027年 1月	2月	3月
日本セグメント（国内＋海外代理店向け）				第1四半期（1Q）			第2四半期（2Q）			第3四半期（3Q）			第4四半期（4Q）		
アジア、北米、ヨーロッパセグメント（海外子会社）	第1四半期（1Q）			第2四半期（2Q）			第3四半期（3Q）			第4四半期（4Q）					

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― セグメント別売上高推移

（百万円）

	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期
日本 (国内＋海外代理店向け)	24,291	26,078	28,167	31,278	35,794
アジア (子会社)	21,215	26,005	32,438	40,931	47,339
北米 (子会社)	2,568	3,059	3,109	3,876	4,744
ヨーロッパ (子会社)	1,671	2,247	2,858	3,085	3,612
施設事業	346	334	369	361	362
連結売上高	**50,092**	**57,725**	**66,942**	**79,532**	**91,853**

日本セグメント	日本国内向け及び海外代理店向け販売 （東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア 等）	北米セグメント	北米子会社（アメリカ・カナダ）
アジアセグメント	中国・台湾・インド・タイ子会社	ヨーロッパセグメント	イギリス・ドイツ子会社

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― 地域別（仕向地別）売上高推移

（百万円）

	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期
日本	17,135	17,138	18,906	20,767	22,120
海外売上高	32,956	40,586	48,035	58,765	69,732
アジア地域	25,343	32,150	38,567	47,304	56,359
北米地域	2,568	3,059	3,109	3,903	4,744
ヨーロッパ地域	4,098	4,498	5,501	6,229	7,193
その他	946	878	857	1,326	1,435
合計	**50,092**	**57,725**	**66,942**	**79,532**	**91,853**
海外売上高比率	65.8%	70.3%	71.8%	73.9%	75.9%

日本	スポーツ施設事業を含む日本事業	ヨーロッパ地域	ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他
アジア地域	中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他	その他	オーストラリア・中近東・中南米 他
北米地域	アメリカ・カナダ		

※海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

© 2026 YONEX Co., Ltd.

― 本資料に関する注意事項

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

© 2026 YONEX Co., Ltd.